

北海道教育委員会 (所在地：北海道)

事業名 北海道「障害者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業」

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後における障害者の学びの場の整備・拡充や情報共有の仕組み等について協議する場の設置
- ・効果的な学習を支援するための具体的な学習プログラム・実施体制等に関する実践研究の実施

事業内容

- ・地域連携コンソーシアム会議（年4回）
- ・北海道立生涯学習推進センターによる道内市町村教育委員会への障害者の生涯学習推進に係る実態調査
- ・北海道教育庁根室教育局における、地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究事業（ICTを活用した各種学習プログラムのオンライン開催、共生社会の実現を目指した活動の創出などの事例等の視察）
- ・モデル市町村（北広島市）における、市町村版地域連携コンソーシアムの構築に向けた実証研究
- ・コンソーシアム構成団体が実施する事業等の情報共有
- ・市町村担当者対象研修会の実施に向けた、道教委社会教育主事に対する指導者養成研修会
- ・共生社会コンファレンスIN北海道（オンライン開催）

事業実施体制・連携先

- 地域連携コンソーシアムの構成員
 - ※コーディネーターは北海道教育庁生涯学習課社会教育主事
 - ・北海道大学 ・北海道教育大学 ・藤女子大学 ・医療法人稲生会
 - ・いっしょにね文化祭実行委員会 ・社会福祉法人ゆうゆう
 - ・DPI北海道ブロック会議 ・北海道社会福祉協議会・北広島市教育委員会
 - ・道立特別支援学校 ・道教育庁根室教育局 ・道教育庁特別支援教育課
 - ・道保健福祉部障がい者保健福祉課 ・北海道立生涯学習推進センター

研究の成果と課題

- <成果>
- ・コンソーシアム会議やコンファレンスにおける実践交流を通して、障害者の学びの様々な事例や各団体の取組の情報共有を進めることができた
 - ・道教委主催のもとでコンファレンスを開催できたことで、昨年度と比較して道内各振興局の生涯学習担当者との関わりが圧倒的に深まり、新たな連携やつながりを築くことができた
- <課題>
- ・障害者の生涯学習について、各地域のNPO等の団体や自治体が行っている様々な取組の実態やその成果を効果的・効率的に発信すること
 - ・当事者のニーズ調査等により現状と課題を把握し、学びに関する機会の創出や、情報の一元化など、誰もが等しく同様に学びの機会を得るためのきめ細やかな支援を行うこと

その他研究の詳細など



【社会教育主事対象研修会】



【アダプテッド・スポーツ教室】



【共生社会コンファレンス】



地域連携コンソーシアム (道教委生涯学習課HP)



「障害者の生涯学習」に関する 情報提供 (根室教育局HP)



医療法人稲生会による情報提供 (みらいづくり研究所HP)